

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 7 0 1 2 3 4 5

始



業			産		
物			獲		
物			獲		
沿岸漁獲合計	藻類	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他
	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他	其ノ他
水産学校練習船東海丸	遠洋漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船
	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船	警備並沿岸漁業指導船
（在現末年）			（在現末年）		
ルヲ發（モ有動）ノス機			ルヲ發（モ有動）ノス機		
合			合		
計			計		
計			計		
計			計		

特256  
66





特256  
86

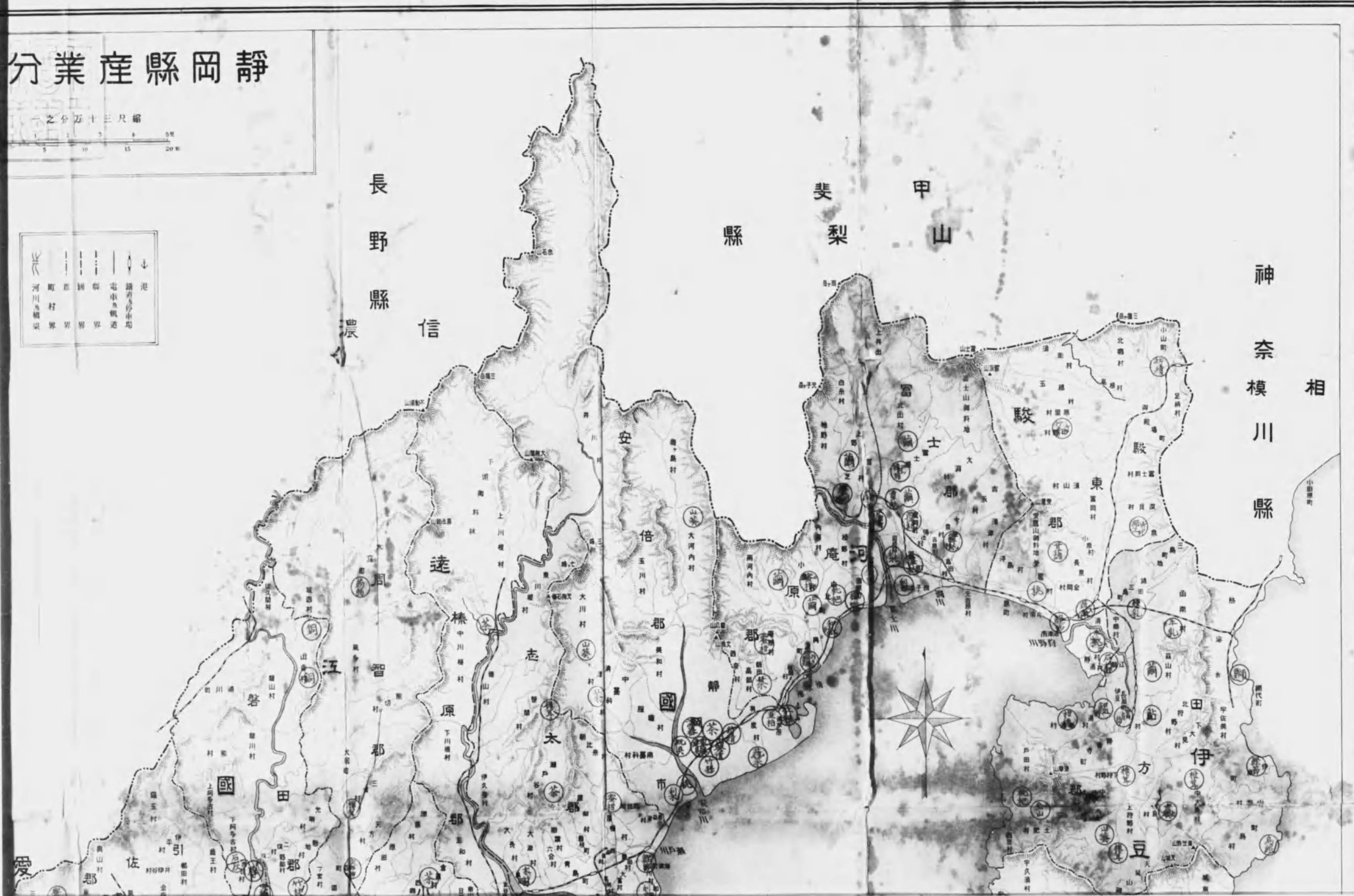
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

# 静岡縣產業分

縮尺三十分之一



↓	港
⇩	鐵道
⇨	電氣線
—	國界
---	縣界
---	郡界
---	村界
—	河川



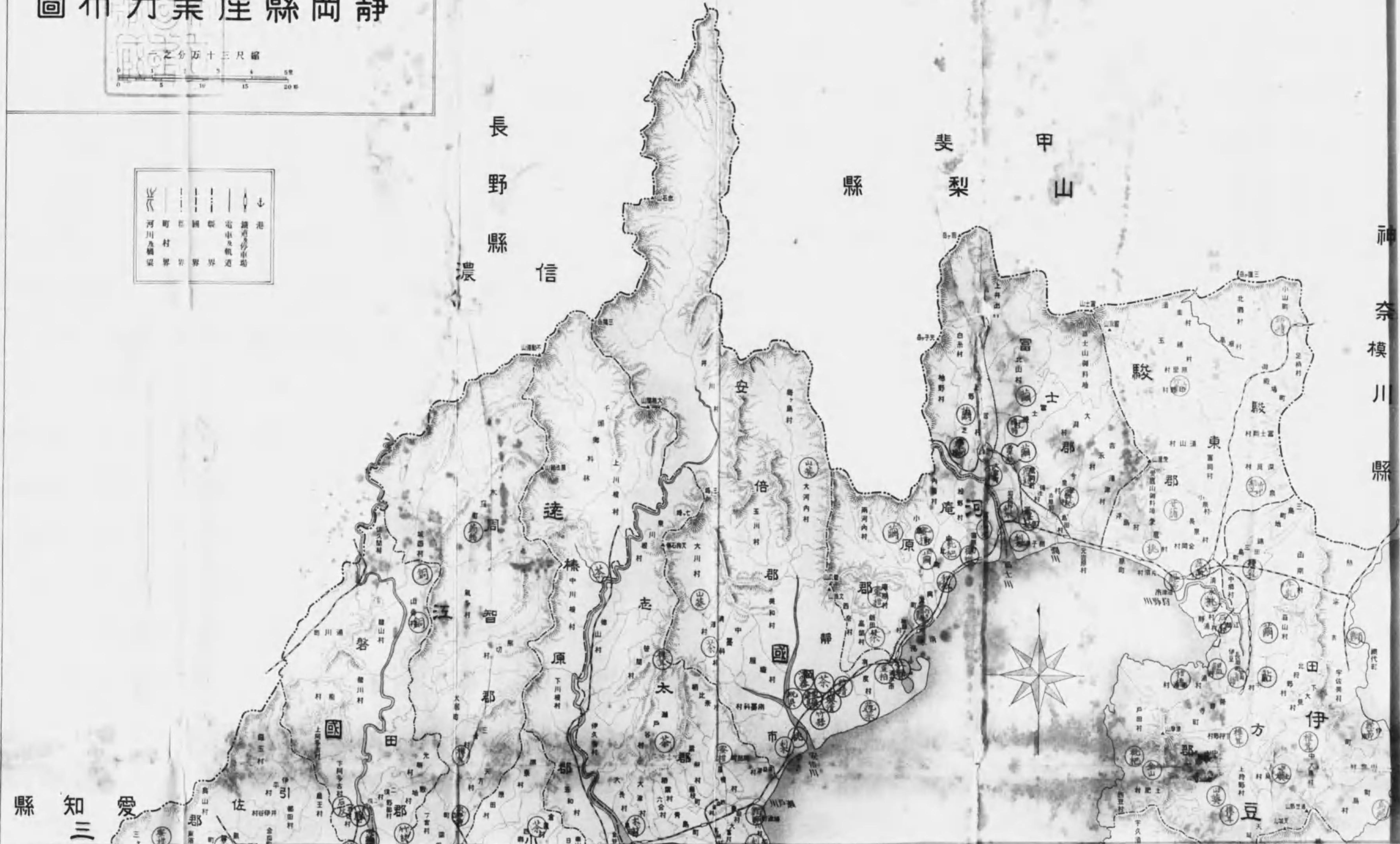
愛 佐 郡



# 靜岡縣產業分佈圖



河川及橋梁	町界	縣界	國界	電車及軌道	港口及車站



縣 知 三 愛 佐

長 野 縣  
信 濃

斐 梨 山  
縣 甲 山

神 奈 川 縣



	河川
	村
	縣界
	國界
	鐵道
	自動車道
	郵便局
	港



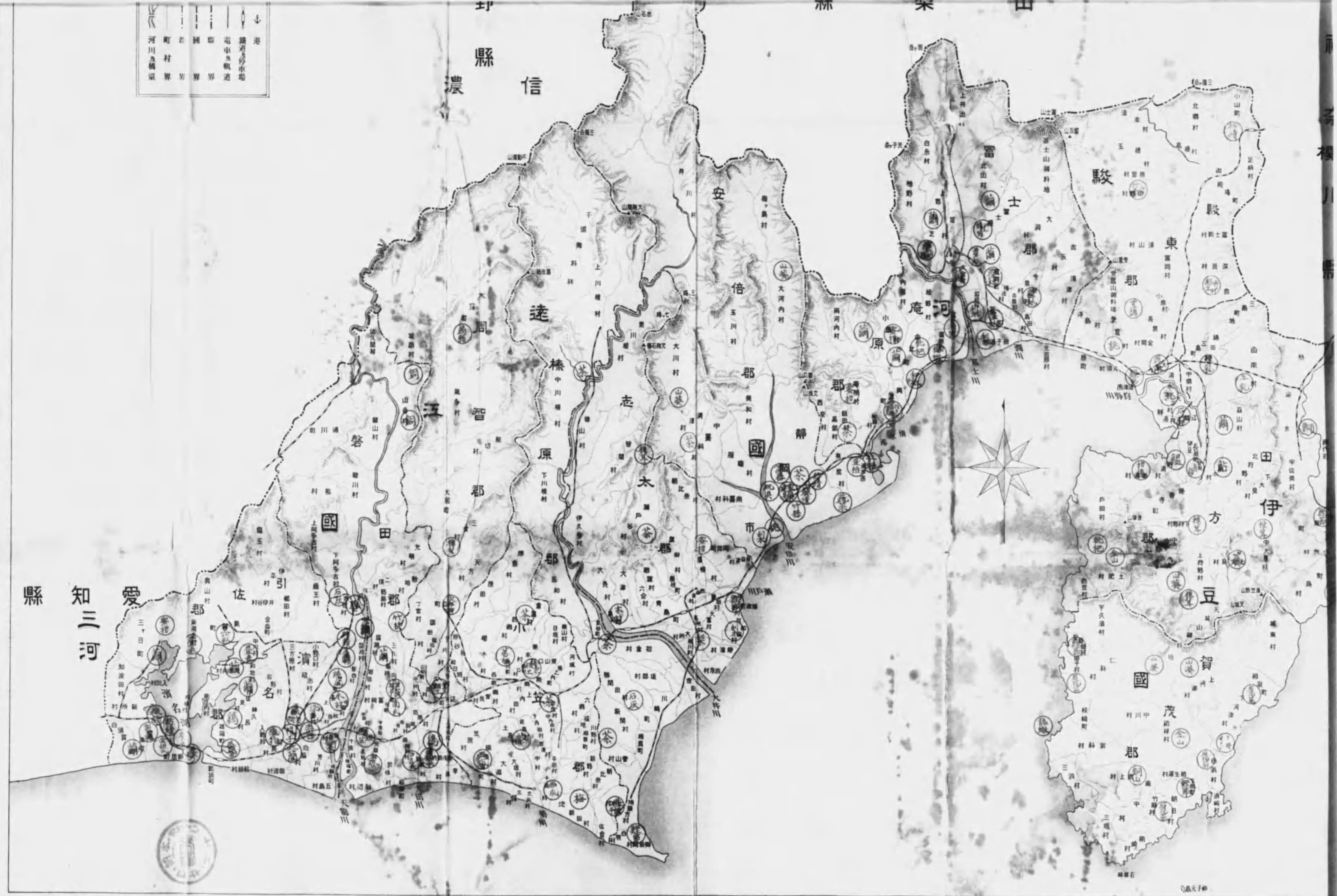
神  
奈  
模  
川  
縣

和  
三  
河





河川	町	郡	縣	鐵道	港
及橋梁	界	界	界	及	場
				電車	
				及	
				船	
				渡	
				場	





覽 要 業 産 縣 岡 靜

産業の概況!!

北に理想の象徴たる富士山あり、餘曠東南に起伏しては伊豆の半島となり、良材を生産し、鑛石を埋蔵し、而して日本著名の温泉地帯をなす。

又西北に延びては赤石山脈に合して駿遠の北部を形成し、鋼鐵を産出し製紙原料を供給し、而して本邦有数の林業地帯をなす。

南に汪洋たる海洋あり、濶長行百三十餘里に亘り、岩礁屈曲せる伊豆地方は、石花菜豊富にして、又定置漁業に好適し、長汀砂渚の駿遠地方に於ては沿岸の漁業發達して海産の幸頗る多く、又縣の西部なる沼名湖は周縁二十餘里に亘つて養殖の業勃興し、更に近年急進の進歩を見たる遠洋漁業に於ては、鯉の漁獲地帯に併せて、伊豆海、捕鯉の者も、廣く全國の市場に於て喧傳せらる。

既に北方高山を負ひ、南方太平洋に臨むを以て、耕地帯の如く東西に亘りて、大小二十餘川は此の間を横ぎつて南に流る。常に治水の經費を要すこと多大なるのみならず、時に氾濫の虞あり。雖も、鐵路亦長所に通じ、到る處水力發電に適せざるなく、從つて工業の進歩を促すこと急にして、製茶、製紙、紡績等は中東部に發達し、織物、染物等は西に於て特色を現はし、何れも全国的に有数の地位を占む。地形前述の如きを以て、耕地面積割合に狭く、田圃合計十三萬三千町歩に過ぎず、從つて主要食糧に不足して年々六、七百萬石内外を他府縣より移入するの増進に在り。雖も、氣候溫和、土地膏腴にして特殊の作物の栽培に適し、其の收利たるは米麥の不足を補うて餘あり、即ち茶の生産は全國に冠絶して其の五割餘を占め、殊に再製茶の如き其の大部分を清水港より海外に向つて輸出す。又柑橘の産物は第一に位して到る處の旬鮮地を利用し、梨の栽培は大井附近の沖積地に發達して全國の首位に在り、其他三保地方の不時蔬菜、沼名湖の主似、天龍以西の生果、落花生等、何れも全國に其の特色を發揮す、而して山間の産物たる榎茸、山葵の如き黄色ある特殊産物として著名なるものに屬す。

又農業に於ては養蚕、養蠶の如き既に二十餘年前に振興したるも、よく其の發展を除き缺點を去り、學理的にまた經濟的に適應せしめ、廣く縣下の各地に普及して經濟的飼育法の先驅をなしたる事は沼津に於ける初瀬取引と共に全国的に知らるべき也。

業		農		額 總 産 生		象 氣	
(青花及茶園) 物 産 農 園	物 産 農 用 食	畜 小 大	畜 小 大	計	計	計	計
...	...	...	...	...	...	...	...

産 水		業 礦		林		畜 産		業 絲 蠶		業 製		農	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	

指 導 産		業 及 通 交		業 商		業 工		業 産 水	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

66















